

あおい通信 第113号

日本の世界遺産めぐり その十 日光の社寺（文化遺産）①



日光東照宮

五重塔

日光山内の世界遺産には、《日光東照宮・輪王寺・大猷院廟・二荒山神社・滝尾神社・本宮神社・四本龍寺》の社寺が指定されています。

自然環境と建造物群が一体となった宗教空間と家康公の霊廟として知られる徳川幕府の聖地。それらの名所を順次紹介し（順不同）

世評・時評

「新米安価」

新米が各地のスーパー店頭に並び始めた。昨年産米より安い。今のところ全国で平年並み以上の収穫になるとみられ、農協が農家から買い取る新米の価格は、昨年より1割以上も下がった。高齢化と人口減でコメを食べる量も減っていく中、13年産米が余っていることも響く。

都内のスーパーでは、高知産や宮崎産の新米コシヒカリ5キロを税込1800円前後で売る。昨年の同じ頃より一割ほど安い。スーパー「ライ

フー近畿地区では、三重県産コシヒカリ5キロは昨秋より2割ほど安い1600円前後。特売を始めた。円安で輸入の乳製品や食肉が値上がりするなか、国産の米の安さが目立つ。

西日本の大半が今夏、長雨と日照不足で作柄が悪くなる恐れがあるが、東日本では8月15日現在「良」や「やや良」が多い。13年産米が7月末時点で国内消費量の15%にあたる120万トンほどが余っていることも響き、安値に拍車をかけている。

余っている米は、粉にして麺にしたり、食品以外

「がん予防のある説」
 ヨッチャン

がんの発生には、食物35%、喫煙が31%で係るとされますが、実は生活習慣を改善すると大半は予防できます。再発予防の食事療法を取り入れれば、成果が上ります。『身体は毎日の食事で作られますが、その栄養素を細胞が取り込む際の代謝（食べ物体内でエネルギーや他の栄養素

『次に控えるのは四足歩行動物（牛や豚、馬）の肉類で、動物性蛋白質や脂肪は人間の身体では代謝されにくく、体内にカスが生じ、これが発がん物質と結びついて発生を高める』一方、積極的に摂りたい食品は、野菜、果実、玄米、豆、芋類、ヨーグルト、海藻、きのこ等。野菜と果実に含まれるポリフェノール成分は体内のサビや毒素を一掃し、細胞の新陳代謝を促します。睡眠時間を7〜8時間とる、お風呂や軽い運動で身体を温めると、予防効果は尚一層高まるそうです。

＊日光東照宮
 日光東照宮は、関東地方北部、栃木県日光市に所在する神社。江戸幕府を神格化した東照宮を大権現に祀る。

日本全国の東照宮の総本社の存在である。正式名称は地名等を冠称しない「東照宮」であるが、他の東照宮との区別のため「日光東照宮」と呼ばれることが多い。

その歴史は少なくとも源頼朝による日光山造営までさかのぼり得るもので、源頼朝がその母方の熱田大宮司家の出身者を別当に据えて以来、鎌倉幕府、関東公方、後北条氏の歴代を通じて東国の宗教的権威となっていた。こうした歴史的背景に、徳川氏は東照宮を造営したと考えられる。

＊東照宮五重塔
 日光東照宮の五重塔は、慶安三年（一六五〇）に初代若狭小浜藩主の酒井忠勝が寄進したものであったが、文化十二年（一八一五）に焼失した。その後文政元年（一八一八）に十代酒井忠進が再建したが、現在の五重塔である。高さは36m、極彩色の日本一華麗な五重塔で、初層軒下には富田宿（現大平町）の名工、後藤正秀が手がけた十二支の彫刻がある。また、初層内部にも漆塗り・彩色・漆箔がきらびやかに施されている。

塔を貫く心柱は事例の少ない懸垂式で、礎石には据えられず、四重から吊り下げられて浮いている。これは時を経て重みで塔身が縮んだ際にも心柱が五重の屋根を突き抜けてし

まわらないよう、江戸時代に考えられた工法。こうした工法が可能であったのは、五重塔の心柱が構造上塔身から独立して、先端の相輪だけを支えているためだが、一方で、その塔身と分離した心柱は、免震の機能を果たすとも考えられた。東京スカイツリーのデザイン監修者である元東京藝術大学学長 澄川喜一氏によれば、この五重塔の免震機能はスカイツリーの制振システム（心柱制振）にも応用されたという。

五重塔は地震に強いといわれる通り、日光東照宮の五重塔も幾度かの大地震を乗り越えて健在として今も、標高645mの日光山にあつてスカイツリーの高さに呼応するが如く屹立している。

10月度行事の予定
 袋田の滝・喜連川温泉・日光江戸村二泊旅行
 10、11日（金、土）のんびり観光、ゆったり温泉。帰りに日光江戸村で遊びます。

カラオケ会
 17日（金）バンバンにて。（事務局長

＊五重塔は、仏塔の形式の一つ、重塔と呼ばれる楼阁形式の仏塔のうち、五重の屋根を持つものを指す。下から地（基礎）水（塔身）、火（笠）風（請花）、空（宝珠）からなるものでそれぞれが五つの世界を示し、仏教的な宇宙観を表している。

葵友の会
 広報コーナー

9月度行事の結果
 江戸東京博物館お出かけ4日（木）両国の名所へ、定員21名に30名もの応募が。外れた方は次回の優先権があります。お許しを…。
 カラオケ会
 19日（金）バンバンにて、10名の参加。

利用者さんの
紹介コーナー

唐澤 みずほ(水)

スポーツが大好きで、昔は卓球をやっていた。今はもっぱらテレビで観戦しています。毎週土曜日にカラオケを気の合った仲間です。



佐久間 豊子(水)

出かけることが大好きで旅行や、デパートなどによく行っていました。今は歩くのが疲れてしまうので、テレビを見たり、友達とは電話で話をしています。



桜井 光子(木)

庭いじりが生きがいで、夏の間は暑いので大変でした。ラズベリー、ブラックベリー、イチゴ、一番の自慢はしゃくなげです。



『落語の中の蕎麦』

絹田 治夫

今回は落語や江戸の蕎麦の話。蕎麦の流行。救荒食(きゆうこうしょく)【非食料の意】から都市のファストフードに。幕末、江戸府内の蕎麦屋は3763軒と言われている。落語の『そば清』の蕎麦を聞くと蕎麦が食べたくなる。私は歯ごたえのあるものを、辛い大根おろしと山葵でいただくのが好きだ。かき揚げや山菜の天ぷらといただくのも香ばしくて好きです。色々食べましたが、やはりせいろが一番うまいです。江戸には大食会(たしよくかい)があつて、遊びをする者もいれば、賭事の一種として行う者もいたそうです。ずいぶん贅沢な話である。しかし50枚、60枚も食べるとは、『蛇含草』(じやがんそう)で、こちらは上方の落語の蕎麦で蕎麦ではなく餅の大きい蕎麦です。最後に甚平を着て座っているシーンも、蕎麦が羽織を着て座っているシーンもずいぶんシニールで、絵にしたらどうなるんだろう、とあれこれ考えてしまうが、「想像を絶する」ことの起きるのが、落語の面白さです。 つづく

昔の大泉 永井ツナ江

朝まんじゅう、晝うどん、夜は田圃の米の飯。旧盆八月十三日〜十五日の三日間仏様を迎えて、手づくり接待をする。きゅうりは馬、ナスは牛、十五日の夜には送り火をして盆は終わり。昔の(現在公園)白子川の源は井頭(イカシ)弁天で、きれいな清水に、メダカ群フナ、ドジョウ、黄色の水草花吹き、夏はホテルも夕暮には飛びかい、ホテル狩り、子供達の水遊びにかつこの遊び場所秋、両側の田圃、稲が実って小金波、風情がありました。又、森林あつて、快晴の日には西の方

『速算法』

下野 卓

今や、そろばんは見かけられなくなつて久しい。計算も、電子計算機・電卓へと、携帯電話でも使えるように便利な世の中になったものである。しかし、暗算は生活の中で今でもつかわれている。葵デイズでも脳トレのひとつに「数独」がある。ここで頭の体操をして脳の活性化をはかりたい。速算法は速算術あるいは、簡便法といつて、ある「特定の数」の計算である。例えば365+99のような計算は99を100とみて1を引けばよい、即ち365+100-1とやれば計算は楽である。

『蒲公英』 句会

阿寒湖に まりもの神秘
秋の雲 和田輝子
杖止めて 蜻蛉群れ飛ぶ
池眺め 穂刈 操
秋冷や 餉の匂う
散步道 相川 誠
東北の 旅情豊や
葛の花 岸野弘子
金踊り あなたも一緒の
帯締め 佐藤 和
摘みたての 青紫蘇香る
厨かな 松本幸子



『あおい俳壇・歌壇』

夏の夜 天の川見る 夫婦かな
相田美代子

終日を 陽をた探して 老犬は
エサ食す 鳩を眺めいるのみ
彼岸花 群れ咲く墓地に 吾も孫も
集いて香焚く 母を語りつ
麻生伊登子

みちのくの 茄子漬の味 変わりなく
幼き頃の 想い出深し
相田美代子

生みの母 育ての母と母二人
母となりても 忘れ得ぬ人
すぐ傍に 笑顔がいつもある母ら
守られながら 吾独り生く
河西千恵子

自画像

ドライバー
松本安薫(やすのぶ)



『ふゆの物語』

pc講師 山田とし子

私の趣味は、日本蜜蜂飼育と、シンビジュムの仲間の金陵辺の栽培です。蘭は奥深いので程々にしています。あおい通信一一一号で紹介された、高橋カツさんの「ふるさと物語」ができました。お人柄そのままの優しい語り口の民話です。秋の夜長、幼い頃に思いを馳せるのもよいですね。キッチン前の本棚にも置いてありますので、是非ご覧ください。

